

さぬき舞人 令和5年福島復興PR遠征報告

4月8日（土）

まず始めに、福島県浪江町の震災遺構浪江町立請戸小学校に訪問し、浪江町議会渡辺議員の案内で施設を見学すると共に当時の状況を説明していただき、貴重なお話を沢山伺うことができました。2021年10月に一般公開を開始したこの施設は、震災や津波の脅威と共に、全校児童が近くの大平山に避難し、一人も被害を出さなかったことからの防災の大切さなど多くのことを学ばせていただきました。



震災前年に建てられた小学校だけが残し、周りの民家がすべてなくなり、海側に建つ大きな防潮堤、小学校見学のために新たに作られた広い道路だけの景色に以前の賑わいが戻ることのないこの地域の現状から、津波の被害の大きさを改めて感じました。



続いて、双葉町に建てられた東日本大震災・原子力災害伝承館の視察を行いました。ここでは、この街に関東の電力を賄う原子力発電所が建設されることになった当時の盛り上がりから、震災により廃炉になるまでの流れなど、甚大な被害が発生した東日本大震災において唯一福島だけが経験した原子力災害をこれからも風化させてはならないと改めて考えることができました。





次に、檜葉町のみんなの交流館ならは CANvas で演舞の機会を準備していただいた。この施設の周辺には新しい震災復興団地やスーパー・ホームセンターなどが建ち並び、町民の交流の場として建てられた真新しい施設であり、檜葉町のよさこい連檜葉天神龍舞さんによってイベントを開催していただきました。

檜葉天神龍舞さんをはじめ、いわき市の神谷＊花華さん、富岡町のさくら YOSAKOI 天花さん、浪江町の Wonder なみえさんと一緒に檜葉町の方々によさこい演舞を披露しました。



檜葉町の松本町長もお越しいただき、お礼の言葉と特産品を贈呈していただきました。さぬき市代表からも、さぬき市の名所上り三ヶ寺を紹介すると共に、八十八庵のうどんをお渡しし、さぬき市の PR をさせていただきました。

最後はさぬき市からさっきーも登場し、讃岐うどんとさぬき市のクリアファイル・ふるさと納税チラシ・さっきーシールをお配りし、大変喜んでいただきました。



4月9日（日）

福島2日目は3年半前の福島訪問時に訪れ、帰還困難区域として、フェンスで入場制限されていた富岡町の夜の森で開催された富岡町桜まつりに参加しました。

1週間前の4月1日に特定復興再生拠点区域の避難指示が解除され、震災から12年経過し、やっと人の住むことが許されたこの地域では、多くの空き地や残された民家は窓ガラ



スが割られ、震災以前の桜の名所と呼ばれた夜の森とは違う景色ではあるものの、挨拶に来ていた富岡町の山本町長は『多くの方が訪れ、以前の賑わいを感じられる一日になった』と伺いました。町民のほとんどは現在も避難を続け町内在住者は震災前の15%未満の2千人程度で、多くの

来場者が町外から来ていることを教わりました。

生憎、今年の桜のピークが1週間前だったこともあり、満開の桜の下での演舞とはなりませんでした。多くのお客さんや福島のよさこいチームの前で特別に3回の演舞をさせていただきました。多くの声援をいただきました。

こちらでも讃岐うどんをお配りし、香川に来たことのない福島の方々にさぬき市のPRをさ



せていただきました。

今回も沢山の方にお世話になり、最高の福島遠征になりました。



PR 効果

○みんなの交流館ならは CANvas 演舞（福島県檜葉町）

4月8日（土）午後14時

- ・地域住民やよさこい関係者、出演者合わせ約300名
- ・さぬき市の紹介、PR
- ・檜葉町の松本町長への挨拶
- ・マスコットキャラクター「さっきー」登場
- ・讃岐うどん（さぬき市造田宮西のうどん店『溜』）を来場者へプレゼント100人
- ・記念品の手渡しによる配布
 - ・さぬき市クリアファイル100枚
 - ・さぬき市ふるさと納税や観光チラシ100枚
 - ・さっきーシール100枚

○富岡町桜まつり（福島県富岡町）

4月9日（日）

- ・観客動員数約11,000人、参加踊り連14チーム、踊り子総数約400人
- ・さぬき市の紹介、PR
- ・富岡町の山本町長へ挨拶
- ・讃岐うどん（さぬき市造田宮西の溜）を来場者



へプレゼント 100 人